

- ・対象地域：根室市(歯舞地区)
- ・地域人口：2,348人(680世帯)(H25年根室市統計)
- ・漁港：歯舞漁港(歯舞地区、温根元地区、瑤瑤瑠地区)(4種)、
トーサムポロ漁港(1種)、沖根婦漁港(1種)、友知漁港(1種)、
根室港根室港区・花咲港区(重要港湾)
- ・漁業就業者：1,792人(H23年港勢調査)

根室地域(歯舞地区)マリンビジョン

— 最東端の海からのメッセージ —

(平成26年3月改訂)

■拠点漁港のタイプ

- 衛生管理流通拠点型、都市漁村交流拠点型(歯舞地区)
- 増養殖支援拠点型(温根元地区、瑤瑤瑠地区)

拠点漁港



歯舞漁港(歯舞地区)



歯舞漁港(温根元地区)



歯舞漁港(瑤瑤瑠地区)

地域の資源等



納沙布岬と貝殻島



日本一遅く咲く桜並木



【位置図】

温根元地区

歯舞地区

瑤瑤瑠地区

歯舞地区

歯舞漁港(4種)

現状と課題

現状

- 漁業を基幹産業とし根室市漁獲量の33%の水揚げを誇る
- 地区漁業者のほとんどが着業しているコンブ生産の低迷

課題

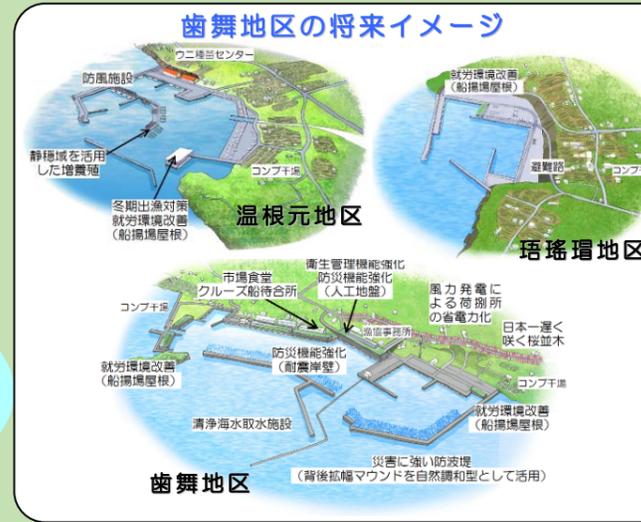
- 歯舞水産物のブランド化戦略の構築(水産物の付加価値化)
- ブランド化戦略と合わせた「歯舞」の知名度の向上
- ブランド化への取り組みによる漁業の振興
- 漁業生産や地域の核としての漁港整備の推進(衛生管理型漁港、漁船の安心・安全な陸揚・準備・休憩、災害に強い漁港づくり)

地域の目指す姿

■ビジョンの特徴

歯舞ブランド確立に向けて多様な取組みを展開し、この取組みの過程で水産業はもとより地域経済や社会の活性化を目指す。特に、歯舞水産物のブランド化を中心テーマに位置付け、ブランド化への取組みを通じた漁業振興による地域の活性化に向けて関係者が一体となって取組み、活気のある地域づくりを目指す。

- (1)産地流通体制の強化と歯舞ブランドの消費拡大
- (2)つくり育てる漁業環境の整備と人材育成
- (3)漁村・地域の総合的な振興(防災対策、地域資源の活用、多面的機能の発揮)



地域マリンビジョン協議会

- マリンビジョン協議会メンバー(総勢41名)
- 地域住民
 - ・地区町連絡協議会、小中学校、漁港愛護会
- 商工・観光関係者
 - ・地元企業、観光協会、旅館組合、物産協会、商店街、観光研究会
- 農業関係者
 - ・農協、酪農家、農協女性部
- 環境関係者
 - ・郵便局、信金、建設協会
- 人材育成関係者
 - ・商工会議所、青年会議所
- 水産関係者
 - ・漁協、各漁業部会、水産協会、昆布流通業界
- 行政機関等

地域資源(特徴)

- 四季折々に提供される新鮮な魚介の味覚
- 日本最東端に位置する納沙布岬及び貝殻島(コンブ)
- 歯舞漁協所有の「第15はぼまい丸」による「本土最東端パノラマ・クルーズ」
- 歯舞こんぶ祭り、歯舞おさかな祭り
- 根室市水産研究所、根室市ウニ種苗センター

【その他の主な地域資源等】

- ・トーサムポロ沼、北方原生花園、流水、霧等

漁港の将来像

■歯舞地区

- ・衛生管理流通拠点漁港の形成(衛生管理型市場整備など)
- ・歯舞地域観光振興(クルーズ、市場食堂、桜並木等)
- ・漁業生産基盤としての機能強化(耐震岸壁等)

■温根元地区

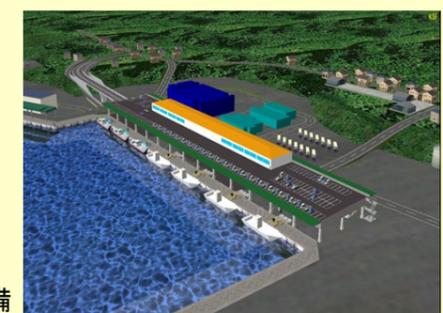
- ・貝殻島コンブ漁業の前進基地としての機能の充実
- ・増養殖支援拠点機能の整備(種苗生産、中間育成)
- ・漁業生産基盤としての機能の強化(冬期出漁対策等)

■瑤瑤瑠地区

- ・貝殻島コンブ漁業の前進基地としての機能の充実

ビジョン実現のための主な取組み

- 既存商品の充実
- ブランド化戦略
- 1漁業部会1品運動への取組み(22漁業部会)
- 漁協女性部の取組み
- 地元小学生、中高生を対象とした体験学習
- 上五島町漁協との人事交流
- 衛生管理体制の強化と啓発
- 災害時の水産物流通機能の確保と地域防災体制の確立
- 「はぼまい丸」による本土最東端パノラマ・クルーズ、「歯舞市場食堂」の開設、「日本一遅く咲く桜並木」の整備
- つくり育てる漁業の展開、漁業後継者の確保、漁港整備



人工地盤施設の完成予想図